

3/9 成羽文化センター周辺
神楽のまちを駆ける

「第27回体力づくり なりわ神楽マラソン」(市・市教委など主催)が開催され、町並みコース(3*o)、神楽コース(5*o)、ふれあいコース(1.4*o)の3コース10部門に312人が参加。歴史と文化のまちを元気に走り抜けました。

競技終了後、昨年12月の全国高等学校駅伝競走大会で2位に入賞した、興譲館高校女子陸上部の森政芳寿監督による「青空マラソン教室」が行われ、練習方法や普段の練習で気を付けることを学びました。



春を感じる陽気の中、ゴール目指して駆け抜ける選手たち



沿道から「頑張って！」とあたたかい声援を受けてゴール！

3/1 文化交流館
こんな飛行機あったらいいな

「ぼく・わたしの夢の飛行機展」(たかはし広がる子どもの夢事業実行委員会主催)が、全日本空輸株式会社の協力で開かれました。

会場には、飛行機の25分の1の模型や歴代客室乗務員の制服などを展示。航空事業の歴史と変遷をパネルで紹介しています。

オープン前には「ぼく・わたしの夢飛行機絵画コンクール」の表彰式を開催。最優秀賞は、有漢西小1年山縣彩世さんの「たのしいゆかいなとりひこうき」に贈られました。



飛行機の模型や備品などを展示



絵画コンクール受賞者の皆さん



まちの出来事

2/23 方谷の里ふれあいセンター
ほうこくん登場！



シンポジウムに参加する「ほうこくん」

「山田方谷先生を学ぶ研修講座」(中井町・有漢町・津川町・巨瀬町四地域交流事業実行委員会主催)が開催され、約100人が郷土の偉人山田方谷の幼少時代と母親の教育を学びながら、4地域相互の理解と交流を深めました。

研修会の中で、若き日の山田方谷をイメージした「ほうこくん」がデビュー。今後、各地のイベントなどで知名度アップに活躍します。

2/13 総合文化会館
障害者の親が亡くなった後を考える



障害者の家族や専門家によるトークセッション

「たかはし福祉フォーラム2013」(市・市自立支援協議会主催)が開かれ、約110人が参加。親が亡くなった障害者の家族の実例発表や障害者支援の専門家の意見を聴講しました。

フォーラムに先立ち、小河原障害福祉顕彰の表彰式があり、小林富男さん(スポーツ功労)、小野晶子さん(スポーツ功労)、吉村貞治さん(芸術文化功労)が表彰されました。

3/7 高梁国際ホテル
力を合わせ農・福・商・官の発展を



ワークネットおかやま・田中三郎理事長(左)、近藤市長(中)、天満屋・伊原木省五社長(右)

NPO法人ワークネットおかやま、天満屋、市が農・福・商・官の包括的連携に関する協定を締結しました。

市が協力農家や農地の情報を提供。農家の指導で、同法人に雇用された障害者が農作物を栽培し、天満屋が系列の店舗などで販売します。それぞれの得意分野を生かし、相互の発展を目指しています。

3/1 消防本部
地域の防災体制づくりに協力



表示証を交付された3事業所の皆さん

消防団活動に積極的に協力している事業所に「消防団協力事業所表示証」を交付しました。

この表示証の交付は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められ、事業所の協力で地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。

平成25年度は、川上工業(株)、岸本精密発條(株)、滝口建設工業(株)に交付しました。



編集後記

▼「おはよう！」のあいさつ運動をしていると、太陽の位置が高くなり春を感じます。ここ数年、3月になると思うことが二つあります。一つ目は東日本大震災。未曾有の災害から3年がたちました。未曾有の復興はなかなか進みません。もう一つは広報担当になって何年たったか。「新年度こそやるぞ！」と思うことがたくさんあるのに、なかなか進みません。(KH)

▼今月号の特集は「子育て支援」。これまで、子育て支援の情報やスクラム作戦など、子育てに関する情報をお届けしてきました。少子高齢化を迎えた今日、いろいろな課題もありますが、これからの時代を支えてくれる将来世代。子育てを頑張るお母さん・お父さん、そして未来を担う子どもたちにとって優しい高梁であるために、これからもたくさんの方の情報を届けていきたいと思っています。(KY)

▼高梁市行政チャンネルは4月から吉備ケーブルテレビのデジタル121チャンネルにお引越しします。撮影機材も変わるため、取扱説明書とにらめっこしています。4月から放送する番組を何度も協議し、撮影する日々。今後も市民の皆さんにわかりやすくお伝えするにどうしたらいいのかと模索しながら良い番組を作っているように頑張ります。皆さんからのアイデアや、ご意見・ご要望もお待ちしております。(AO)